

「親子 2 代の感謝」

F・K 1992 年度卒

現在長女（中 3）、次女（小 6）が桂本部教室でお世話になっています。私も中学時代の 3 年間で洛進で大変お世話になり志望校に合格することが出来ました。当時、現在の塾長土肥賢治先生が英語の先生として第一線でご活躍されていた時代。「先生わからへん。ここ教えて。」といつ尋ねてもいつも丁寧に、そしてパッションを持った指導をしてくださいました。パッションの集団、洛進の先生方のことが大好きで勉強は全く苦痛ではありませんでした。また共に学んだ同級生たちも努力家の集団で刺激を多く受けました。そんな良い思い出ばかりの塾でしたから、我が子も洛進にお世話になろうと決めていました。現在長女も次女も熱心な先生方にお世話になり、そのおかげで入塾当初より成績も大幅に上がってきており、ただただ感謝しております。先生方の丁寧さや熱意は当初私が通っていた時代から全く変わらず健在で、安心して子供たちを預けさせていただくことが出来ています。ありがとうございます。長女や次女の受験まであと 7-8 ヶ月。娘たちのことを今後ともどうぞ引き続きよろしく願い申し上げます。洛西進学教室の今後益々のご発展をお祈りして結びの言葉とさせていただきますと思います。

「最後まで諦めない気持ち」

N・F 2023.2 卒業

この話は私の受験が 1 週間に迫った時に先生がおっしゃった言葉の話だ。私は算数が少し苦手だった。テストでも、単元によつての点差は大きく苦手な単元が出てきては手も足も出ない状況だった。そんなこんなで苦手を残したまま洛進の受験前最後のテストがやってきた、そのテストで私は算数で 100 点近い人がいる中で半分を大きく下回る点数だった。私は受験がもうすぐなのにこんな点数をとってでは私は合格できないのではないか、と思った。そして、その日先生から呼び出され、このようなことを言われた「あと 1 週間、全力で頑張ろう」その言葉を聞いて私は心の中のモヤが一気に吹っ飛んでいったのを感じた。そうだ、何も今から受験なのではないまだ時間はある、その時間でできることがある。と思えたのだ。ついさっきまではもうダメだと思い、諦めかけていたのに、その言葉のおかげで諦めずにすんだのだ。そして私は 1 週間全力で算数に取り組み、見事志望校に合格した。あの言葉があったからこそ、今私は志望校に通えている。だから私にとってこの言葉が今も心に残っている。

「唯一無二の大切な場所」 Y・Y 2023.2 卒業

私は、5年生の春に入塾して以来、ずっと公立西京中学校を目指して5CS1、6CS1クラスで勉強していました。それは担任だった戸田先生や苦手科目であった算数担当の荻野先生など多くの先生に支えられ、励まされた二年間であったと思います。

特に私が印象に残っている思い出は、6年の二学期始め、スランプに陥ってしまった時のことです。模試での算数の成績が大幅に落ちました。それも後で解きなおすと解ける問題ばかり間違えていました。上がり始めていた合格判定も下がってしまい第二志望にと考えていた中学校のプレテストでも結果はよくありませんでした。できると思っていただけにショックで落ち込みながら先生に成績を見せました。「難しく考えすぎているのでは」と指摘してくださった戸田先生は私に明るくおっしゃいました。「大丈夫。本番じゃないし、これからどんどんペース戻していったらいい。こういう学校は、経験として踏み台にしちゃえ。」私は、今回の成績が志望校合格に対する不安につながっていたことに気づき、先生の「大丈夫」という言葉にとっても安心させられました。泣きたいくらいの気持ちで、先生に見せることさえ躊躇したのに、その後の自習では心が軽くなり、気持ちを切り替えてスムーズに勉強できました。

その後は間違えた問題を分析し、類題を何度も解きました。三校目のプレテストの結果は得意の国語で平均点を高く上回り、苦手な算数でも半分以上を取ることができ、スランプを脱することができたことを実感しました。早速先生方に見せに行くと、先生は私以上に驚き、喜んでくださいました。戸田先生からは「おお、すごい。自分でこれだけ取り戻せるとは、さすがやな。」と褒めて頂き、荻野先生からも「めっちゃ頑張ったなあ。」と言って頂き、嬉しさで泣きそうでした。先生方の間でも私の課題について話し合ってくださっていたそうです。

受験前の最終三者面談の日、戸田先生は私におっしゃいました。

「よくここまで伸ばし切った。あとは大丈夫。合格までの実力は十分ついたから。堂々と試験会場に行っておいで。不安なこともあるやろうけど、柚稀ちゃんは今年の6CS1で一番しんどいスランプを乗り越えたと思ってる。落ち着いて、今までやってきたことを全部出せたら、絶対受かる！」

私はここまでやれたんだから絶対大丈夫。先生が私にくれた「自信」という武器が、私の中にあった不安や緊張を一気に解消してくれました。私が堂々と、そして精一杯試験を受けられたのは、きっとこの日があったからです。

そうして1月14日、15日は、自分の二年間をここにぶつけてやる気持ちで、緊張どころかむしろ楽しんで臨むことができました。終わったあとは、達成感で胸がいっぱいでした。残念ながら第一志望の西京中学校には合格できませんでしたが、京都女子中学校、京都橘中学校の合格を勝ち取ることができたのは、先生方がずっと私のことを応援し、助けて下さったからです。今は京都橘中学校の生徒として、洛進の先生の言葉一つ一つを胸に刻み、楽し

みながら頑張っています。洛西進学教室は私にとって唯一無二の大切な場所であり、そのおかげで私はここにいます。今でも感謝の気持ちでいっぱいです。受験で感じた嬉しさ、悔しさ、すべて糧にして、努力し続ける人でありたいと思っています。中学受験という狭き門に挑戦する勇気を、本当にありがとうございました。

「たくさんのありがとう」 へのへのもへじ 2023 年卒業

まず、私が入塾したのは 5 年の春頃と周りの受験生より遅かったです。学校では簡単にできる算数も、塾で習う算数はとても難しくて戸惑いました。そんな時、荻野先生が授業後、時間を割いてくださり 1 から丁寧に教えてくださいました。その頃から質問に自分から行ける勇気を持てました。ありがとうございました。洛進の先生方皆の個性が強かったこともいい思い出で、授業が毎回楽しかったです！また、私が困った時、励まして欲しい時、洛進の先生方は親身に寄り添ってくださいました。先生だけではなく。クラスメイトもそうです。毎週のテストで競い合い、ほぼ毎日顔を合わせて笑い合える、そんな仲間がいたからこそ楽しく通えていました。学校よりも人と親密で、もっとも自分らしく過ごせる場所で沢山の貴重な日々を過ごせたことが私の 1 番の思い出です。本当にありがとうございました。

そして、40 周年おめでとうございます。私が大人になっても洛進が続き、先生方とまた会えることを願っています！

「自分と、仲間と、先生方と」 R・T 2020 年 3 月卒業

私にとっての思い出は、夏の合宿でしょうか。朝から晩まで自分と向き合い、仲間とともに勉強に励んだ日々は今でも懐かしいです。

晩の算数特訓中、夜の 10 時過ぎくらいだったでしょうか、中の見えない段ボールから取る、「おにぎりくじ」が始まりました。じゃんけんで順番を決めましたが負けてしまい、一番最後に引いたのを覚えています。頭だけでなくお腹にもエネルギーを注いでくださった、先生方のお気遣いを今でも忘れません。

あれから 10 年。一番の思い出は何かと振り返れば、桂教室で過ごした日々であったように思います。一つの結果に喜び、一つの結果に泣き…切磋琢磨した仲間、歩みをともにしてくださった先生方、着実に成長できた毎日が、私にとって大きな財産になりました。生徒の皆さん、ご自身の目標と一日一日を大切にしてください。40 周年、おめでとうございます。

「リベンジ」 ヨルフメ 現塾生中3

僕の洛進での思い出は、小6の頃の day 合宿です。皆で「限界突破」と書かれた合宿 T シャツを着て、ひたすら勉強をするというのは、場所が塾であってもいつも以上にやる気が起きました。しかし、1つだけ後悔していることがあります。それは年表テストであまりいい点を取れなかったことです。もっとちゃんと勉強してテストに臨むべきだったと今も思っています。そんな苦い思い出からまもなく3年が経過します。再び受験生となって合宿に参加する事になりました。そして、その際に年表テストも行われます。今回は満点を取ってリベンジを果たし、受験に向けて自信をつけたいです。

「コロナ禍での受験」 C・U 2021 年度卒

私は小5からコロナの流行が始まったため、受験の時はコロナ禍真っ最中でした。宿泊なしの夏期合宿などたくさんのことがありましたが、最も印象深いのがコロナ禍ならではの zoom 自習室です。荻野先生が何かをしている様子がずっと写っているのをみながら自室で勉強していました。今思うととてもシュールな状況だったと思います。でも、そのおかげで志望校に合格することができました。これからも先生方がお元気で洛進でご活躍することを祈っています。

「大変だけど楽しかった日々」 I・T 2021 年度卒

洛西進学教室 40 周年おめでとうございます。僕は4年生の冬から洛進に通っていましたが初めは勉強についていけなかったらどうしようと不安でしたが、荻野先生の面白い算数、戸田先生のわかりやすい国語で楽しく勉強することができました。時には叱られたり、面談も何回もしましたが、人生の貴重な体験でこれから生きる励みになったと思います。これからも50年、100年経っても元気な洛進であることをお祈りいたします